

3. 市民参加による検討

- 3-1. 第5次総合計画「東武動物公園駅西口わくわく
ロード事業」(解釈)
- 3-2. ワークショップ(検討会)
- 3-3. 講演会
- 3-4. 第1回 社会実験
まちなかピクニック・まちなかスタンプラリー
- 3-5. 第2回 社会実験
わわわ! トウブコ
- 3-6. 市民の意見などまとめ

3. 市民参加による検討

3-1. 第5次宮代町総合計画「東武動物公園駅西口わくわくロード事業」(解釈)

駅から東武動物公園、新しい村までのエリアを、(まちの活性化につながるような活動をしている) 町民・観光客・事業者と共に(ワークショップや社会実験を行い、その結果を参考として) アイデアを出し合いながら、(ウォークブル推進都市として、西口周辺エリアの単なる公共空間を、だれもが居心地の良い居場所へと変えることで人と人をつなぎ、居場所と居場所をつなぐ道路を) 歩いて楽しく、わくわくするような道路に整備し、(だれもが歩きたくなるまちなかへと変えることで) 西口エリアの価値を高めることを目的とします。あわせて、駅西口区画整理エリアの土地活用を促進します。

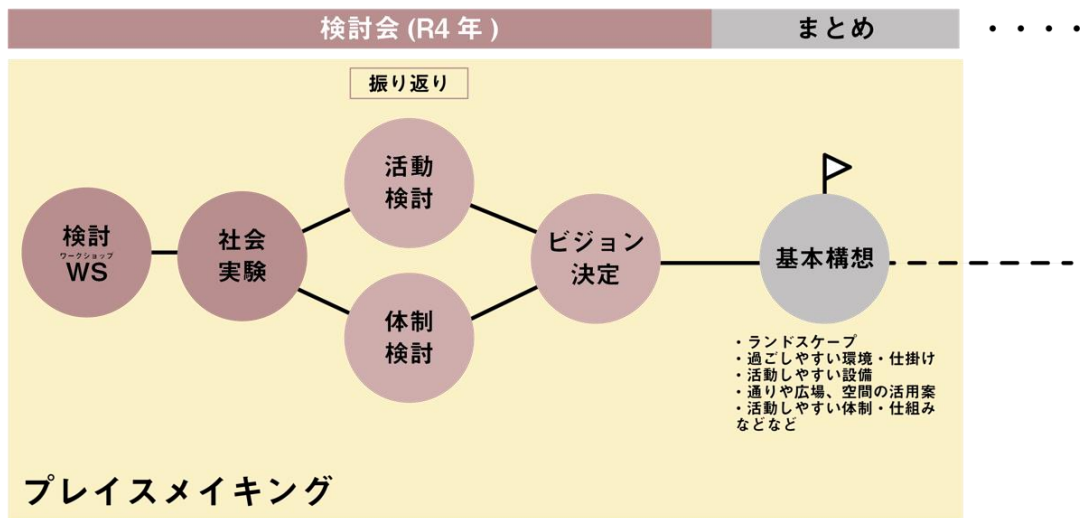
3-2. ワークショップ(検討会)

多方面で活躍されているみやしろ愛のある市民の方を集めた検討会を開催し、東武動物公園駅西口周辺エリアの活性化やにぎわい創出といったエリアの将来像について検討を重ねました。

※市民とは・・・町内に居住、在勤、在学する者、その他町の執行機関が必要と認める者

概要

R5年



第1回	令和4年6月28日(火)	検討会チーム顔合わせ・仮テーマ決めとスケジュール設定
第2回	令和4年8月11日(木)	事例インプット・具体的なアクションイメージを持つ
第3回	令和4年10月4日(火)	宮代町のビジョン共有(言語化) ビジョン実現に向けた具体的なアイデア出し
第4回	令和4年12月6日(火)	ビジョンの共有・アクションプランの設定
第5回	令和5年1月18日(水)	社会実験実行プラン検討・決定、実行タスク整理
第6回	令和5年2月21日(火)	社会実験の進捗共有および分科会

検討会の様子



一 検討会メンバーにて考えたビジョン（宮代町のキャッチコピー）

まずは、わくわくロードを中心とした西口エリアの将来像を、全員で目線合わせを行う必要があると考え、ビジョンの明文化として、検討会メンバーにて宮代町のキャッチコピーの作成を行いました。

Aチーム（抜粋）

- ・人が外ににじみ出していて寄り道したくなる
- ・遠くにおもしろいものがある、アレ？このまちどこか違うな、と感じる町

Bチーム（抜粋）

『空とわたしと宮代町』－自然が豊かで、また来たくなるまち－

- ・人と人との良い距離感
- ・自然が豊か
- ・ちいさなコト、モノの集合で大きなモノをつくる⇒スイミーみたいな

Cチーム（抜粋）

『広い空を見に、帰りたくなる、自慢のまち、自分次第で何でもできる、循環のまち、それが宮代マインド』

帰りたくなる：子供たちが帰郷

自慢のまち：動物公園など

自分次第で何でもできる：チャレンジ

循環のまち：まちの中で循環リサイクル

一 検討会メンバーにて決定したビジョン（宮代町のキャッチコピー）

広い空、歩きたくなる自慢の街。

小さなはじまりを形にできる、よりみちしたくなる町。

宮代町

一宮代町に欲しい風景や過ごし方アイデア

Aチーム（抜粋）

- ・ 軒先ロード：常連さんとたわいのない話をし、家に帰れる
- ・ しめの1杯、しめのお茶漬は宮代で
- ・ 夕方17時金曜はホコ天、もちこみOK
- ・ 誰かいる、ちょっと寄れるところがある
- ・ 小さい子供もつれていけるおしゃれなカフェ
- ・ 駅前でヘリノックスチェア・焚火台かりて、新しい村で食材を買ってピクニックの場所にマップをたよりに向かう
- ・ 広場だけだと、人が集まるきっかけがないので、集まりやすいポイントをつくる
- ・ 雨がしのげるとか、天気は左右されずに遊べたり、雨の日でも外に出たくなる場所がある
- ・ 特に用がないのに外に出たくなる
- ・ ちょっと遠いけどわざわざ行きたくなるあのお店
- ・ 駅から歩いていく
- ・ 新しい村で昼寝タイム、森林浴ができる

Bチーム（抜粋）

こども

- ・ 動物を連想させる何か（うさみみとか）
- ・ 空に向かって いろんなところにブランコ
- ・ 空に近づく ツリーハウス・熱気球
- ・ 竹馬や釣り竿などが借りられる場所がある

道路

- ・ 演奏会や写真会が気軽に開け、友達同士で楽しい思い出の場所がつかれる
- ・ 動物公園と駅前イルミをつなぐ こどもたちによるキャロリング
- ・ キャンプファイヤーや花火など夜が楽しく泊まりたくなるルール作り
- ・ バスに乗らずに回遊する 動物が食べられる植栽（人参とか）が道路沿いにあり、手に取り、動物園であげられる
- ・ バスに乗らずに回遊する
- ・ 植栽帯を町民が自由に使える
- ・ 駅前から新しい村まで馬車でゆっくり町や空をみながら巡りながら訪れることができる
- ・ 空を楽しむ 2階建てバス
- ・ 空を楽しむ 道路沿いにハンモック

行動

- ・ ビアガーデン・キャンプ。暑い夏、外で食べるおいしさ、夜の自然を楽しめる
- ・ 足湯 ほっと一息できる
- ・ 近隣のお店の BBQ セットを食べられる（地元食材を味わえる）
- ・ 空き家をホテルに
- ・ 宮代町らしいコンセプトで外から来る人が楽しめる場所づくり

Cチーム（抜粋）

循環

- ・ 街中スタンプラリー アプリ化
- ・ ハッシュタグを付けてみんなで投稿
- ・ 生ごみ集積場エコステーション

- ・ 街中通過
- ・ 楽しいサイン、情報ツール

自分次第で…

- ・ シェアキッチン、レンタルスペース、町が応援（モノを貸してくれる）援助してくれるシステム 町の広報やLINEで発信

- ・ だれでも使えるシェアオフィス
- ・ 日替わりスタンド

自慢のまち

- ・ おしゃれなレンタルサイクルで拠点を回遊できる
- ・ 建物のうんちくを町の広報などでアピール

- ・ 進修館や笠原小学校の見学町内ランチツアー

広い空

- ・ 無印芝生広場、四季の丘ハンモック、ほっつけ田星空観賞
- ・ 畑の真ん中で空を見上げる外で空を見ながら過ごせる場所（BBQ・キャンプファイヤー）

- ・ 朝焼け夕焼け写真で時間を知らせる（WEB,SNS）

宮代マインド

- ・ いつでもだれでも自由に過ごせるスペース、夜すずみたいから町歩きしやすい街灯
- ・ 動物に常に触れることができる仕掛け
- ・ 新しい村ヤギ

- ・ 農体験できる、みんなで育てる

—宮代町に欲しい風景や過ごし方アイデアまとめ

A：駅周辺 “回遊性のきっかけ”

- ・ 無印良品の前に椅子&テーブルが増えたらいい
- ・ 駅前の案内板の新装（サイクルポートと連動）
- ・ サイクルポート（無印・新しい村・日工大）
- ・ おとながくつろげる場所…足湯
- ・ こどもが楽しい場所…まち建所有の遊具を点在

赤：ハード（将来的も含む） 青：イベント

- ・ ゆるくつながりを感じられる交流拠点
例：図書館で町民の〇〇さん選書等
- ・ エンタメ…馬車
- ・ 町民の〇〇さんおすすめの MAP…まちの案内所 MAP のアレンジ？
- ・ 大学生がもっと町を回遊できるルート考案…仕掛け
- ・ 桜並木等
- ・ デジタルスタンプラリー

B：進修館&役場周辺 “ウォーカブル・寄り道”

- | | |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none">・ 歩行空間を充実させるための、くねくねした道（植栽ふくむ）・ ちょっと休める交流スペース・・・屋根、フラクタル日よけ・ 日陰がある場所・ 空き家活用・・・宿泊施設を見据えたなにか、コワーキング等 | <ul style="list-style-type: none">・ 植栽計画・・・動物のご飯を植えて、えさをあげる？・ おとながくつろげる場所・・・足湯・ こどもが楽しい場所・・・まち建所有の遊具を点在・ 移動動物園・ 駐車場でのナイトシアター |
|---|--|

C：新しい村周辺 “にぎわいをうむ、新しい村まできてもらう仕掛け”

- | | |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none">・ 植栽計画・・・「新しい村」に向かう道の雰囲気明るく・ 「新しい村」看板の再考・ 「新しい村」グランピング・宿泊・ おとながくつろげる場所・・・足湯・ こどもが楽しい場所・・・遊具を点在させたい、「新しい村」 | <ul style="list-style-type: none">・ 山崎山の林でボルダリング・ 山崎山星空観賞、ツリーハウス、地域のお店で食材 BBQ セットを購入できる仕組み・ 気球（新しい村の芝生を生かして）・ 駐車場でのナイトシアター |
|---|---|

連絡手段

検討会メンバーからの意見で LINE にてわくわくロード検討会メンバーのオープンチャットを作成しました。事業に関わる連絡事項や情報共有など、円滑に情報のやり取りができる場として活用することにチャレンジしました。

社会実験を実施するにあたり、チームに分かれての作業が発生した際、オープンチャットをうまく活用しながらチームでスムーズに連絡を取り合う手段として活用しました。また、情報が多くなると、重要な情報が埋もれてしまうため、「ノート」といった機能を活用する中で、情報発信時に統一したフォーマットで発信をお願いするなどの統制が必要なことに気がきました。

その他、検討会メンバー各自にて実施している活動の情報共有、メンバー集めの場としても活用しています。検討会メンバー同士のつながりを継続するための1つのツールとしても可能性を感じることができました。

3-3. 講演会

外部講師 2 名をお招きし、まちづくりに関する講演会を実施しました。

2 部構成とし、1 部では地域事業者やローカルプレイヤーを巻き込んだ持続可能な体制づくりを伴ったイベントなど、事例を交えながらお話いただきました。2 部では町長交えたトークセッションを行い、ウォークアブルやまちづくりに対する公開意見交換を行いました。

まちづくりに興味がある方を対象とし、広く住民の方が参加いただけるようにオンラインでの生配信も行いました。

概要

日程：8/11（木）14：00～16：00

場所：宮代町立図書館ホール

対象：まちづくりに興味がある方ならだれでも

定員：会場 80 名/オンライン 80 名（zoom）

実施目的

人口およそ 3 万 4 千人の小さな町ですが、市民活動や関係人口はほかの自治体に負けないと言えるような市民が輝くまちを目指し、市民のみなさんが「市民活動をはじめよう」と思えるきっかけをつくるために講演会を企画しました。そのため、登壇者の方には「アイデアを発するだけでなく、実行までを自分事で考えられるようなヒント」「持続可能な取り組みの手法や必要な体制づくりのイメージが湧く事例」「多世代の町民がハードル低く参画しやすい仕組み事例」といった目線でお話いただきました。

他の地域の活動のインプットを通して、住民の方が実際に「自分たちもできるかも、やってみたい」と思っていたけるよう、宮代町での市民活動活性につなげる場にするのを、この講演会の実施意義としました。

登壇者



観光以上・定住未満の新しい地域との関わり方である「関係人口」の第一人者として、ライフワークと取材を通じて訪れた数多くの地域やローカルプレイヤーの活動、SDGs、ウェルビーイングに関する知見を活かし、地方自治体の関係人口創出講座の総合監修やメイン講師、官公庁の委員などを務める。趣味はフライフィッシング。

指出一正（さしで かずまさ）
ソトコト編集長

この講演会をきっかけに、市民の皆さんがまちづくりについて話し合えればと思う。
宮代の「代」は関わりしろの「しろ」（指出さんが考えたフレーズ）
関わりしろとは、だれもがそこに居ることが許されるという言葉で、だれでも認めてくれる西口エリア宮代なんていいと思う。（まちづくりに関われる余白がある町）



公共空間活用に関するメディア「公共 R 不動産」にて、国内外の事例や制度等の情報発信や、自治体と企業のマッチングやデータベースの推進にも携わる。2017年から地元豊島区の南池袋公園・グリーン大通りにて「IKEBUKURO LIVING LOOP」を開催。小さな実験を重ねてハード整備や都市政策へとつなげ、まちなかに居場所を作り出す取り組みを地元企業と共創している。

飯石 藍（いし あい）
公共 R 不動産コーディネーター / 株式会社 nest 取締役

市民参加を推進している町であることを感じる事が出来た。
今回の講演会が次のプロジェクトへとつながるのではないかという期待感が持てた。公共空間を使える開かれた町だと思えるので、何かをやりたい人達を巻き込みながら社会実験ができたら楽しいのではないか。

参考となる事例

島根県しまコトアカデミー（平成23年～）

関係人口を増やす、育てる取り組み。移住しなくてもローカルを楽しみたいと考える方は多く、実際にこのアカデミーを卒業して、島根県のために色々な活動を行ってくれているそうです。

奈良県吉野町 MIND TRAIL（令和2年～）

アートプロジェクトとして、奈良県の吉野町、天川村、曾爾村の3か所にておこなわれた芸術祭。アートが好きな人はアート求めて中山間地域にやってくるが、アート作品だけみておわってしまう。アートではない形でお住まいの方と共に次のつながりをつくるきっかけを作りたいということで、まちのみんなをつなげるキュレーションとしてスナックを作った。

実は奈良県は日本で一番スナックの少ない県。「斜めの関係性をつくるために、人と人との関係を作るにはスナックみたいなものがちょうどいい。」ということで、著名なアーティストの方にご協力いただき、看板も作成し、社会起業家の女性お二人にママをお願いし、立ち飲みスナックを作った。

そこでは、アート好きの若い女性が地元林業組合の組合長と語り合い、翌日には吉野杉を見る・といった姿などがみられた。

このように、20代と70代など異なる世代同士がつながる仕組みづくりが大切。

世代を超えた関係性を作ることで、まちのA面だけではなくB面を知り、まちをもっと知ってもらうきっかけとなった。

看板を作って、スナックを開いたことで、「自分も何かできそうだ」と思って、勝手に看板を使ってスナックを開き、この灯りが灯る時には町のことを考えてもらう、そんな形で続いていけばと願っている。

山形県小国町 白い森サステナブルデザインスクール（令和3年～）

講座を通してまちづくりやまちのサステナビリティを学ぶ。

小国町を知らない若い世代が集まっており、中には鹿児島大学院からの参加者も居たり、若い世代にサステナビリティ・まちづくり・未来といったキーワードに関心を持つ方が多くいることが感じ取れる。

仕掛けとして、地元の高校生と出会う仕組みとして、高校生の秘密基地を作った。

高校生にとっては小国町以外の知見を得られることで若い人の成長、お互いに認識し、高めあうことができる。

指出さんのぐっとくる一言集

- ・まちを面白い視点をもつと、まちはますます輝きはなつ
- ・油断させることが大切
- ・設計者として、だれと出会うか何が起こるかを考えることは大切。
ただし、参加者には偶然の出会い・運命・ときめきを持ってもらえるように気取られない雰囲気をつくること。
- ・面出しすることで仲間が共感、増えていく

まちをワクワクさせるローカルプロジェクトのサステナブルな視点

①かかわりしろがあること

自分が入れるかどうか、だれもがはいっていただけるように

②未来を使っている手応え

昔の話が楽しいこともあるけど、いまから起こることを話そうよだとだれでもはいれる

③自分ごととしてのたのしい

自分をご機嫌であることが大切

④仲間の存在を知る

1人でやれることはたかがしれている

いろんな人が混ざり合うことでいい意味でハレーションがおこる

参考となる事例（飯石さんより）

豊島区池袋 グリーン大通り

池袋の高層ビル群につながる、メインストリートとなるグリーン大通り。グリーン大通りにおける課題として、協議会が立ち上がったものの、具体的な事業にはつながっておらず、ハードはある程度整備されているが、使い方がみえてこない実態があった。また、沿道は金融関係、チェーン店が中心となっており、にぎわいのある歩きたくなる道を作っていきたいという思いがあった。

まずは、コンセプトとして「こうあったらいいね」「どうやったらここで自分たちが楽しめるかなあ」という理想の風景を妄想してみて、絵姿を掲げた。そこで生まれたのが、まちの市民のリビング。

都心だと過密でゆっくりと過ごす場所がない。ゆったりと過ごせる場所として、南池袋公園は目的なく人が集まっている。その営みが、点がまちにひろがっていくイメージを持って、このコンセプトを掲げた。

次に、妄想した絵姿の中から、公共空間でできることを少しずつ試してみることから始めた。

実験＝風景・体験の共有

こういった取り組みを知らない方にもしてもらおうきっかけとしてもおこなっている。

グリーン大通りだけでなく、周辺への広がりをつくるということで、池袋リビンググループという大きなイベントを実施した。

そこで目指していたことは、①空間②どんな文化をうみたいかを意識していた。

空間

居心地のいい空間として、マーケットや、色々な人が活躍できる場作りをしたいということで、アートやパフォーマンスなど表現ができる場作りを行なった。

文化

周辺地域のハブとして豊島区内外、沿線の情報をつなげて届けていけるように。

ストリートファニチャーを置いて人々の動きを観察したり、植栽のワークショップとしてどんな場所にあると心地いいかなど、未来のハード整備に向けて実験を行なった。

実験を通じたアクションの積み重ねから変化が起き始める。

①グリーン大通りのハード整備

(植栽・照明・電源・給排水)

②豊島区として「4つの公園を回遊」が都市政策化

グリーン大通りを中心に広がる4つの公園。距離がありなかなか歩きづらいが、歩きたくなる状況をどう作るかを議論している。小さなバスを走らせ、ルートやコンテンツを検討している。

③周辺に面白い動きが増殖

令和3年からは、日常的な営みの定着を目指しストリートファニチャーを自分たちで作って1年間設置することを行なっている。

講演会開催準備

- ・ 講演会開催支援（宮代町への登壇者の紹介、講演会内容の調整、講演会販促物の製作、講演会情報の発信）
- ・ 講演会当日の運営サポート（オンライン配信操作、投影スライド操作）
- ・ 講演会の様子を撮影、撮影後の動画をアーカイブ動画として編集

製作物

1. youtube 投稿用動画製作



2. SNS 発信用写真の製作 (地域プレイヤーからの情報発信用)



3. MUJIPASSPORT からの情報発信

発信店舗：東武動物公園駅前、近隣店舗、東京有明

The screenshot shows the MUJI mobile app interface. The main content is for an event titled '【東武動物公園駅前】まちづくり講演会 - 宮代町のこれからについて考えてみませんか -'. It includes a date of 2022/08/07, a time of 14:00-16:00, and a location at the Miyakocho Library Hall. There are two speakers: Yuzo Imai (Chairman of 'Sotoko') and Kenji Imai (Coordinator of 'nest'). The app also features a QR code for registration and a map showing the location near the Tama River and the Tama Line station.

4. チラシ製作および設置打診

設置：東武ストア、無印良品東武動物公園駅前、近隣無印良品店舗

The flyer features a colorful illustration of a town with a bridge and trees. The text is as follows:

東武動物公園駅西口周辺まちづくり講演会
宮代町のこれからについて考えてみませんか。

わくわくするまちってなんだろう
 車ではなく、たれちが歩いてみたくなるまち
 住民がいきいきと暮らしている風景の見えるまち
 初めましての人と人がつながるまち

宮代町に住む方、働く方、学んでいる方・・・
 たれちが居心地よく暮らせる宮代町って
 どんな風景なんだろう
 これからの宮代町について
 考えてみませんか

指一 正 (さしで・かずまさ)
 「ソトコ」編集長
 観光以上・定住未満の新しい地域との関わり方である「関係人口」の第一人者として、ライフワークと取材を通じて訪れた数多くの地域やローカルプレイヤーの活動、SDGs、ウェルビーイングに関する知見を活かし、地方自治体の関係人口創出講座の総合監修やメディア講座、官公庁の委員などを務める。編集はライフフィッシング。

飯石 隆 (いしし・あひ)
 公共R不動産 コーディネーター / 株式会社 nest 取締役
 公共空間活用に関するメディア「公共R不動産」にて、国内外の事例や制度等の情報発信や、自治体と企業のマッチングやデータベースの構築にも携わる。2017年から地元豊島区の池袋公園「グリーン大通り」にて「IKEBUKURO LIVING LOOP」を推進、小さな実験をなす「フードテラス」や駅前施設へとつなげ、また現在は豊島区を有り出す取り組みを地元企業と共創している。

令和4年 8月11日(木・祝) 14:00~16:00 13:30より受付開始
会場：宮代町立図書館ホール
 〒345-0801 埼玉県南埼玉郡宮代町百間1139
対象：まちづくりに興味がある方ならだれでも
参加方法：会場に直接、またはWeb配信での参加
申込期日：8月9日(火)17時まで
定員 事前予約制・先着順：会場80名 / オンライン80名 (zoom)
主催：宮代町 / 企画・運営協力：良品計画
問い合わせ先：宮代町まちづくり建設課 0480-34-1111

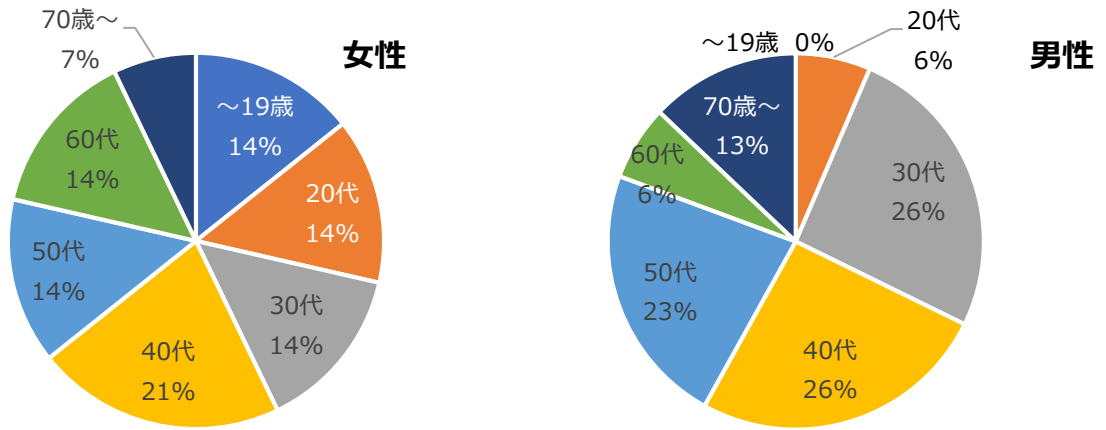
※講演会の様子は写真・動画撮影を行うため、会場内のお客様が録り込みの場合がございます。収録した動画は、後日アフィリエイト配信予定となります。ご了承ください。

申込方法
 右のQRコードまたは下記URLからお申し込みください。
 Google フォーム <https://forms.gle/R2yXt4HhLwhXkxyXDA>
 家賃HP <http://www.town.miyashiro.lg.jp/0000019497.html>

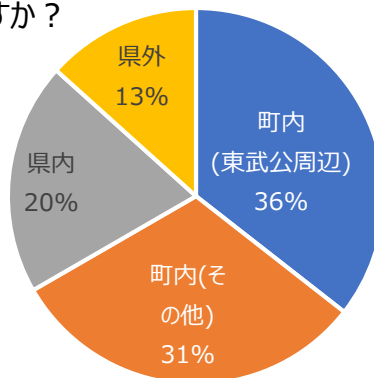
講演会参加者に向けたアンケート結果

■ 東武動物公園駅西口周辺について(回答者数 45 人)

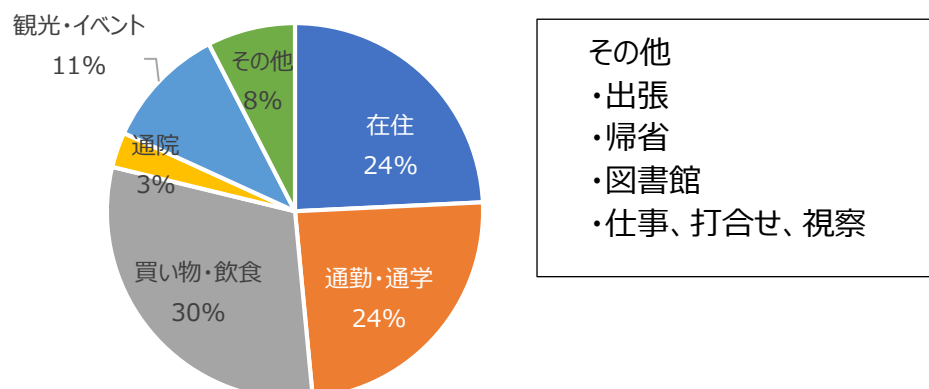
① 性別/年齢



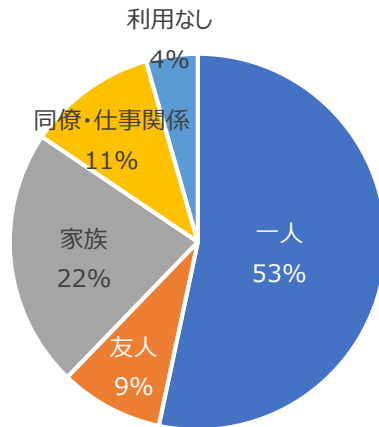
② お住まいはどちらですか？



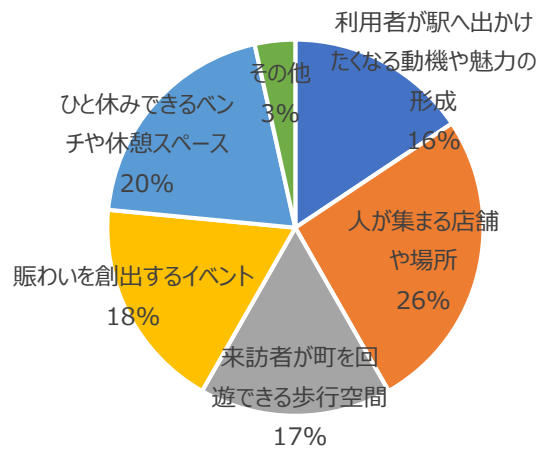
③ 東武動物公園駅西口周辺をどのような目的で利用しますか



④ だれと利用することが多いですか



⑤ 東武動物公園駅西口周辺に何があれば魅力的なまちになると思いますか



- その他
- ・気楽に話ができる場所
 - ・花壇
 - ・まちを訪れる人と地域の接点
 - ・地域の寛容性 (住民・組織)

⑥ 東武動物公園駅西口周辺エリアの印象について

良い点

- ・ 無印良品や東武ストアの出店により、駅前が綺麗になり来やすくなった
- ・ ベンチや休憩スペースなど、外でも日陰になるところがあるのもっと良い
- ・ すごく素敵なまちのエリアだと思う
- ・ 無印良品と東武ストアができたことで便利になり、イベント等も多くあり住みやすく活気のある印象
- ・ 町であり、人のにぎわいもあるのに、緑豊かな場所につながる予感を持つ場所
- ・ 無印良品ができて、和める場へと雰囲気が変わった
- ・ 道路や建物に個性があって良い
- ・ みんなの広場の芝生で、大きなクッションの上に小さな子供たちが日なたぼっこしているところが、ここは宮代町にとってくつろげる場所の一つなのだと感じた
- ・ 駅前から新しい村に向かって歩くと、個性的な建築や木陰豊かな広場空間があり、歩けば気持ちの良いところだと思った
- ・ 新しい村手前の川沿いは、日本ではないような素敵な場所で、住んでいたら毎日散歩したいくらい
- ・ 食べたり休んだり、素敵な場所は増えてきたイメージだが、昼の町というイメージなので夜も楽しめるイメージが付くのもっと良い

課題・改善点

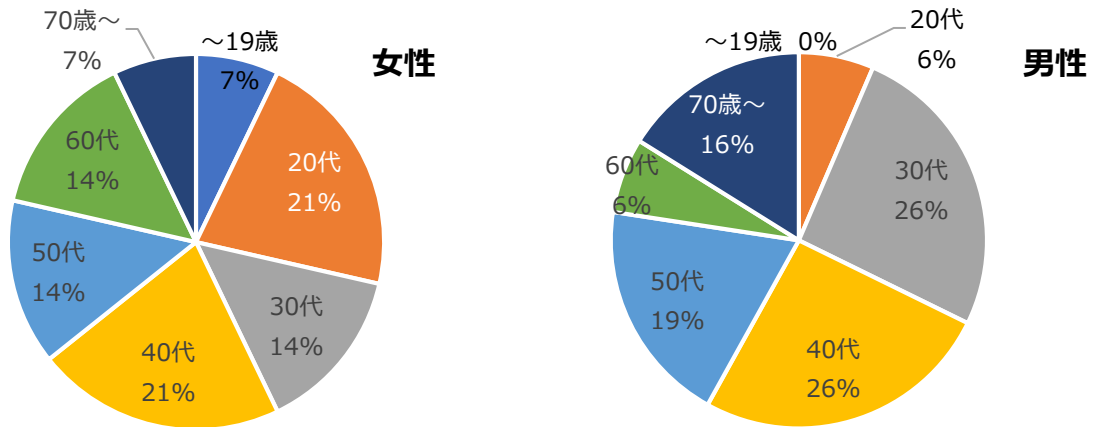
- ・ 百間新道や商店街の活用がされていない
- ・ 通り沿いの商店に元気がない
- ・ 密度がうすいイメージ
- ・ 緑が足りない
- ・ 無印良品と東武ストアだけがらびやかで、全体的に清潔感があるものの、さびれた感じを受けた
- ・ もっと回遊性があると良い
- ・ 駅前と学園通りが分断されていて残念
- ・ 過去に比べて整備はされたが、中途半端な印象でにぎわいがあるとは思えない(それが良いと感じることもあるが)
- ・ 駅前の更地がもったいないと思う
- ・ 人がいない
- ・ 変わってきたという印象はあるが、夜のみに行くのは東口に行ってしまう
- ・ 駅前は明るい印象だが、東武動物公園までのメインロードで良い道なのに、面白みがない
- ・ 高齢者、子供にやさしさを感じさせる休める場所が少ない

意見・要望

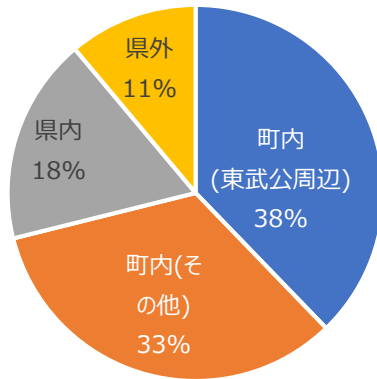
- ・ 歩きながら楽しめる、魅力的で高齢者も元気に過ごせる町になると良い
- ・ 散歩をしていても、桜の所ぐらい広いスペースが他にもあると良い
- ・ 東武動物公園に行くまでの両側が全部開いているような商店街にしてほしい(できれば屋根付きで)
- ・ 新しい村につながる“こころみ”が欲しい
- ・ 飲み物を買える場所やスペースがあると嬉しい
- ・ 大きなハード部分は既存のものを使用すればよいが、ソフトの部分や仮設ハード部分の点を増やしていくことで、面になっていくと思う

■ 講演会について

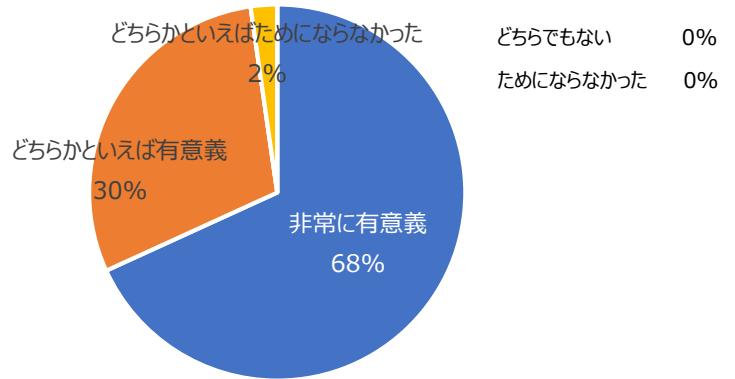
① 性別/年齢



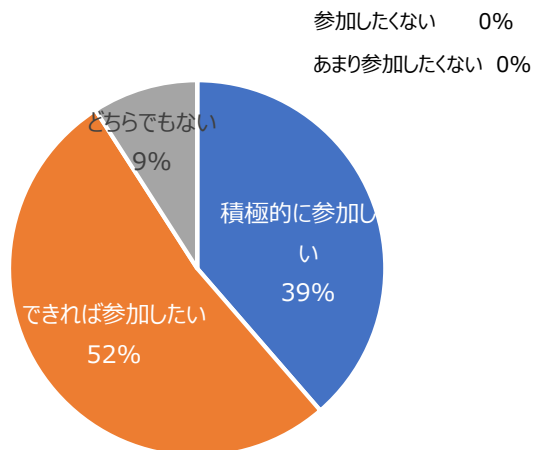
② お住まいはどちらですか？



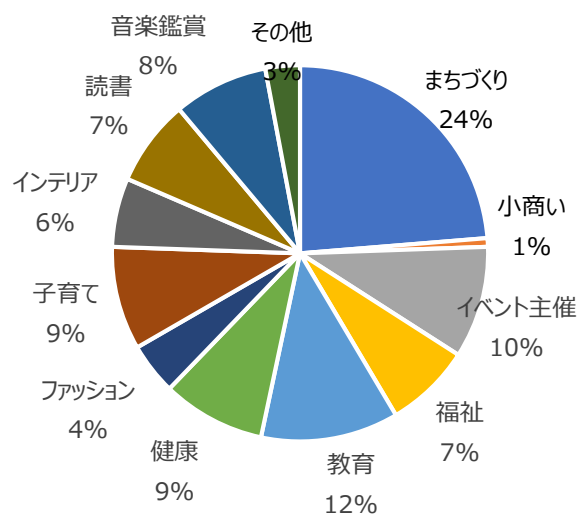
③ 講演会はいかがでしたか？



④ 今回の講演会をきっかけにまちづくりに参加したいと思いますか？



⑤ 興味のある分野について教えてください



その他
 ・スポーツ ・アート ・地域経済
 ・デザイン ・宿泊業

⑥ どのような活動をしてみたいと考えていますか？

また、活動を検討するにあたり、課題だと感じることがあれば教えてください

活動してみたいこと

- | | |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none">・ 子供が町内で様々な体験をすることができるイベント・ 若者の意見が地域の社会課題解決のために活かされるような場作り・ トライ&エラーで良いから、様々なしかけ・ 環境（電気、照明等）やインフラ整備・ 宮代町についての意見交換・ 駅周辺の緑化や、その管理サポートが永続するための仕組みを考えたい・ 大通りのにぎわいづくり・ 町民花壇・ 加齢により、行動範囲が狭くなり、できる事も少なくなってきた中で、自分にできる事をまちづくりの中でできたら嬉しい・ 宮代町にお店のオープン等の宮代町に関わる仕事をしたい・ 自分がやって楽しいことを少しずつその | <ul style="list-style-type: none">・ 輪を広げていきたい（小さな社会実験を広げていく）・ グリーン大通りの整備のお話がとても興味深く、ぜひ活動に参加してみたいと思った・ 大きな空間に何を加えたら豊かになるのかを考えると作業が良いなと思った・ ピクニック、フェス（道路や広場を使って）、所々に屋台やWS・ 若者から高齢者までが集まり、いつでも気にせずに参加できるカラオケのようなスペースを作りたい・ 資金のある人を集め、地域の若者へのリアルな投資家の集まる会とか・ 高齢者と若者が交流できるイベント・ 学生や芸術家の力を借りて、アートやパフォーマンス |
|--|--|

課題

- | | |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none">・ 駅周辺の空き地の活用・ 子供（保護者）や若者が地域のことを“我がゴト”に感じたり、地域に興味を持たせる仕組みづくりが必要（費用の工面等）・ 高校生や大学生など学校生活のあいまにでも活動に参加し、地域への愛着を深められるとよいと思う・ みやイルなどのイベント等を開催するときは、周囲の方の協力がある・ 事業の目的（ミッション）を継続していくなかでも、どうすれば見失わずいられるか。どのようにすれば活動を継続していけるかを難しく考えず、自然に誘導できれば | <ul style="list-style-type: none">・ 東武鉄道とのコラボが必要だと思う・ 未来だけでなく、過去や歴史も大切にしたい、次の世代に今までの宮代町を伝えていくことも重要・ 駅と動物公園の人を捕まえること・ 組織を超えた仲間づくり（評論家ではなく、実働者の仲間）・ 周辺住民の理解・ 官民連携のきっかけづくりと持続性・ 地域で同じような思い、活動している人・団体がつながる機会や仕組み・ 大学生が興味を持って参加したいと思える仕組みづくり |
|---|---|

意見・要望

- | | |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none">・ 遠くにいかななくても楽しませる場所・ コロナで高齢者はどこにも行けないので、世代に関係なくわいわいできる | <ul style="list-style-type: none">・ 駅前から新しい村への花レンジャーの引率や動物公園まで馬車で案内とか・ 人が集まって過ごせる場所 |
|---|--|

- ・ 関係者だけでなく、通りすがりの人達が気軽に参加できる仕組みがあると良い
- ・ グリーン大通りのように通りで仮設の設

備があれば行きたい

- ・ まち全体が居場所になるような宮代がいい

⑦ その他ご意見、ご感想

- ・ 町長にはどんどん旅をして、色々な町を見てきて欲しい
- ・ まちづくりに関する講演を宮代町で参加するのは初めてだったので、参加できてよかった
- ・ 宮代町の公式 LINE で今回のイベントを知ったが、情報が取りやすく、申し込みもとてもスムーズにできたので今後も活用したい
- ・ 新しい視点をたくさんいただきました。
- ・ 講演会形式でなくても、定期的にこのような雰囲気のできる会ができると良いと思う
- ・ 関係人口も大事だが、まちに責任をもって関わってくれる人達がゆっくりでもやんわりと増えていくといいと思います
- ・ 土日祝日の老親子参加できるイベントの計画をして欲しい
- ・ トークセッションは司会を立て行った方が良かったのではないかな
- ・ “スキあり”の微笑ましい講演会で、質問もしやすい雰囲気が良かった
- ・ 多くのキーワードが見つかりました
- ・ せっかくなまちづくりに興味を持つ人たちが集まっているので、ここにいる人たちをつなげるような仕組みを作って欲しい
- ・ 宮代の色々な実行委員会は参加しましたが、旧態依然としていて、とっつきにくかった
- ・ 小川町のように、地域おこし協力隊を入れるなど、よそ者をもっと活躍させて欲しい（昔からいる人が宮代は強い）
- ・ 町長はとても町を考えているので、町民が意見を言える、町プロジェクトの形をつくっていただきたい
- ・ 次は、町民の色々な意見を聞きたい
- ・ 建築について勉強しているものですが、

- ・ 設計だけでなく「人の様子」、「町づくり、町の様子」などにも目を向けながら、“どのような企画を考案すれば町の支援につながるのか”という政策があることがとても良いなと感じました
- ・ 町や地域の方が自然にまちづくり、地域づくりに関わっているという風景がとても好印象でした
- ・ 障がい者としての目線でまちづくりに参加したい
- ・ 質疑応答の時間が短かった
- ・ 町長からパネリストの方々に質問をして欲しかった
- ・ 町長がどのような視点でまちづくりを考えているのかを知れた
- ・ 指出さんのお話はいつお聞きしてもワクワクします
- ・ 日工大で建築を学んでいるが、地元である山形県の話が聞けてとても嬉しかった
- ・ 将来、まちづくりの視点から地元である山形に貢献できるような仕事をするのもいいと思いました
- ・ イベント参加者が自発的に行動するための設計は難しそうだと感じたが、そこを豊かなものにできるかが大事で、一番印象強い話でした
- ・ まちづくりは、ふらっとするものではなく、ゆっくり時間をかけて行うものだと改めて考えさせられました
- ・ 具体的な事例を聞けてとても楽しかったし、今後の活動に活かしていきたいと思います
- ・ 手元に資料が欲しかった